



『定年まで働き続けたい 会社との出会い』

今回は、これまでの就労経験から今の職場で定年まで働き続けたいと話す小池幸子さんに会ってきました。

小池さんはJ A長野厚生連北信総合病院で、給湯業務とシュレッダー業務を担当しています。入社してちょうど1年。『楽しいし、やりがいのある仕事で自分に向いていると思う』と語っ



てくれました。また、これまでの旅館業での就労経験を活かし、院内のスタッフや患者様、ご家族様に対する笑顔での挨拶を心掛けています。

上司の人事課長中島さんは小池さんについて『挨拶が気持ちよく、積極的に業務を行い、仲間からも慕われている。職場の交流会も参加されている』と話して

下さいました。また、これからについても『小池さんには今よりステップアップした業務を目指してもらい、

社幅は広がってきた。色々な経験は無駄にならない。経験から自分が一番力を発揮できる仕事を見つけたい』と、エールを頂きました。

『この仕事を定年まで続けていきたい』と笑顔で話す小池さんの言葉から、仕事に対する情熱を感じました。また、ご本人の努力だけでなく、北信総合病院のように一人の労働者としてその人を知り、その人に合った環境や職務の設定、また、ステップアップした将来像を思い描くことで、

内にはレストランや図書コーナーがあり、イベントも行われます。多くの人に足を運んで頂き、地域とつながっていききたい。地元の方を雇用しながら、地域の皆様のために一役担えれば』と、就職を目指す皆さんへのメッセージも頂きました。

『その方のもっている力が存分に発揮され、互いに定年まで』と思える信頼関係が築かれる、そんな人と企業との関係に改めて気付かされる取材となりました。

小池さんからは『昔に比べたら障がいをもっている人が働ける職種や、働く会

雇用支援ネットワーク部会員 高山美和子